

★ 第116回日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2008年12月20日（土）～12月21日（日）

会場：県立広島大学・広島キャンパス

「在日フィリピン人と加齢～名古屋の高齢者グループを手がかりとして」

高畠 幸（広島国際学院大学）

「百寿者研究の動向と課題」

田中 マキ子・小川 全夫（山口県立大学）

「表情を交し合う相互行為～感情労働論、ケア論などに触れながら」 石橋 潔（久留米大学）

「壁画というメディアと紛争経験地域—北アイルランドの壁画を題材に」福井 令恵（九州大学大学院）

「社会的連帯の源泉としてのナショナリティーリベラル・ナショナリズム論の社会正義論を手がかりに」

白川 俊介（九州大学大学院）

「社会ネットワーク、連帯、社会階層—2005年SSMによる予備分析」 三隅 一人（九州大学）

「沖縄におけるハンセン病療養所退所者組織の形成」 桑畠 洋一郎（九州大学大学院）

「企業メセナと現代アートのコラボレーション－衰退地域活性化の試み」 三浦 典子（山口大学）

「A Sociological Critique of the Multinational Corporation」 Steven L. Rosen（県立広島大学）

特別部会：シリーズ『現代社会を読む』

司会：稻月 正（北九州市立大学）

「近年における日本の自殺傾向について」

江頭 大蔵（広島大学）